

## とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在地	台東区西浅草 3-19-3 スターライト浅草 1F
施設名	ミアヘルサ保育園ひびき浅草

### 1. 活動のテーマ

#### <テーマ>

- ・0歳児:「ひかりと形で遊ぼう」→保育者と一緒に反射した形や光に手を伸ばして楽しむ。
- ・1歳児:「かたちを見つけて繋げてみよう」形を知って線路を作る事を楽しむ。
- ・2歳児:「いろいろな形を見つけて作ってみよう」

#### <テーマの設定理由>

・0歳児→視覚的な刺激に強く興味を示し特に光や色、動きに反応する姿が見られた為。ブロックの形や模造紙に切り抜いた形から入る光、反射を用いる事で光の変化や形の違いに気が付いたり手を伸ばして触れようとする探索行動を示したりといった姿が期待される。又、安全に触れられる素材を使う事で視覚、触覚の両面から感覚遊びを楽しめると思い設定した。

・1歳児→身の回りの物や形に興味を示し絵本を見たり手を動かしたりして遊んだりする中で様々な事に興味を示す。形の絵本や光遊びでの形の反射を通して丸、三角、四角などの形に親しみを持ちその後「つなげて広がるわくわく線路」を使って道路を作る事で形や物への興味を深める、手先を使って繋げる経験をする、保育者や友だちと一緒に遊ぶ楽しさを感じる事をねらいとして設定した。

・2歳児→身の回りにある形や物に興味を持ち絵本を見たり手を動かしたりして遊んだりする中で様々な事を知りたい時期である。その為、形の絵本を通して丸や三角、四角等の形に親しみを持ち模造紙に切り抜いた形から光が反射する様子を見る事で形や光の面白さに気が付く。又、LaQ やビッグソフトブロックを使って形を作る事で手先を使って組み立てる楽しさを感じる、形の違いに気づく、自分なりに作る楽しさを味わう事をねらいとしてこの活動をねらいとした。

## 2. 活動スケジュール

・0歳児→1月「形」の絵本を見る。2月マグネットブロックをホワイトボードシートに貼って形に触れる。模造紙に切り抜いた形から入る光、反射に触れる。

・1歳児→1月「形」の絵本を見て形を指さす事を楽しむ。2月模造紙に切り抜いた形から入る光、反射に触れる。3月「つなげて広がるわくわく道路」を使って道路作り。車玩具を走らせたり道路を繋げたり外したりする。

・2歳児→1月「形」の絵本を見て「丸はどこかな?」「三角あるね」と形に注目する。2月模造紙に切り抜いた形に光を当てて反射する光を見て楽しむ。LaQ を使って形を作り丸や四角を組み合わせる。3月ビッグソフトブロックで大きな形を作って積み、並べる等、自由に遊ぶ。

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

・0歳児 準備した素材や道具→形の絵本、マグブロック(大きくて誤飲しないサイズ)、ホワイトボードシート、コロコロブロック、模造紙、反射素材

環境設定→光が反射しやすい場所に設定、児が手に取りやすい位置に配置、反射が見えやすいよう少し暗めの空間も工夫

・1歳児 準備した素材や道具→形の絵本、模造紙、反射素材、つなげて広がるわくわく道路、車玩具

環境設定→道路は最初に少しだけ繋げておく、広いスペースで遊べるようにする、友だちと関わられるようにする

・2歳児 準備した素材や道具→形の絵本、模造紙、反射素材、LaQ、ビッグソフトブロック

環境設定→LaQ は種類ごとに分けて置く、ソフトブロックは広いスペースで遊べるようにする、作ったものを見せられるスペースを確保

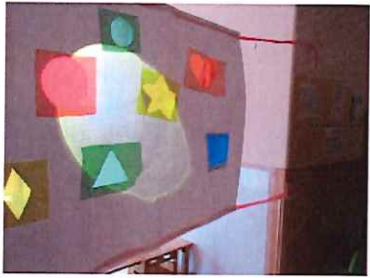
## 4. 探究活動の実践

### <活動の内容>

・0歳児→①形の絵本 ②反射した形に手を伸ばす ③マグネットブロックを貼る

・1歳児→①形の絵本を見て形を知る ②反射した形に手を伸ばす ③線路を使って形を使って遊ぶ

・2歳児→①形の絵本 ②反射した形に手を伸ばしたり掴んだりする。③LaQ やソフトブロックを使って様々な形や物を作る



<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

・0歳児、1歳児→光る部分をじっと見る、手を伸ばして触ろうとする、光が動く目で追う、マグブロックを握る、ホワイトボードシートに貼る等の姿が見られる。保育者との関わりでは共感的な声掛けで「きらきらしているね」「触ってみたいね」や児達の行動「手を伸ばせたね」「光見つけたね」を言葉にする。又、「こっちにも光があるよ」や「丸の形だね」「こっちは三角」と興味を広げる関わりをする。安全配慮として口に入れても安全な素材や尖った角の無い物、誤飲防止をする。

・1歳児は「つなげて広がるわくわく道路」では、道路を繋げようとしたり車玩具を走らせたり、保育者や友だちの作った道路に興味を持つ。真似る→やってみる→繰り返すという姿が多く見られる。又、真っ直ぐ道路や曲がる道路を作り保育者が「もっと長くしてみよう」や「こっちにも道路を作ってみよう」等と遊びを広げて行く。友だちとの関りも促し「〇〇君と道路が繋がったね」「〇〇ちゃんと一緒に走らせてみよう」と声掛けをする。

・2歳児→絵本を見て形を指さしたり「まる」「しかく」等、形を言葉にする。保育者は「丸の形だね」「四角が出来たね」と声掛けをする。光を使って形を反射では光が動く様子を楽しんでいた。保育者は「光がキラキラしてるね」「三角の形だね」と発見を共有。LaQ やソフトブロックでは繋げようとしたりブロックを並べて形を作ったり、作ったものを見せたりする。保育者は一緒に繋げたりブロックを組み立てる援助をする。又、「もっと繋げてみる？」や「大きい形ができそうだね！」と意欲を引き出した。

5. 振り返り<振り返りによって得た先生の気づき>

0歳児、1歳児→光の反射や形を使った遊びを通して児達はキラキラとした光に興味を示し手を伸ばしたり視線を向けたりする姿が見られた。特に光が動いた際には目で追う姿もあり視覚的な刺激を楽しんでいる事が感じられた。

・1歳児→形の絵本や光を使って形を反射に触れた後は「つなげて広がるわくわく道路」を使って道路作りを楽しんだ。自分で繋げようとしたり車を走らせたりして遊ぶ姿が見られ繰り返し遊ぶ中で楽しさを感じている様子であった。

2歳児→形の絵本や光の反射を楽しみながら形に興味を持つ姿が見られた。LaQ やソフトブロックでは自分で繋げようとしたり積んだりしながら形を作ろうとする姿が見られた。完成したものを保育者に見せる姿もあり作る楽しさを感じている様子が見られた。